

事務事業名		コウノトリ保護事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	文化財・文化振興G	課長名	板垣 旭
	施策名	(31)地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号	0854-40-1104 (内線) 4750
	目的対象	対 象	市民	意 図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。		
	基本事業名	(089)地域文化の保存継承		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 3 項 目 中事業 中事業名 2 5 3 5 1 1	文化財保護事業 コウノトリ保護事業	
目的対象	対 象	市民	意 図	地域文化を次世代に伝える。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R元 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
<ul style="list-style-type: none"> ・雲南市内で繁殖活動しているコウノトリの行動を記録・分析し、繁殖ステージの推移を把握する。 ・野外的コウノトリ個体群の遺伝的多様性を管理するうえで重要となる「個体識別用の足環」を装着する。 ・IPPM-OWSの総会等に参加し、野外繁殖をおこなっている自治体と情報共有しながら共通の課題解決に向けた取り組みを行う。 	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)		R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖活動の記録・分析 ・足輪装着 ・IPPM-OWS主催の会議参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖活動の記録・分析 ・足輪装着 ・IPPM-OWS主催の会議参加 ・研究機関との連携 			
② 活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	コウノトリの営巣地	箇所	1	1	1	1
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	コウノトリ		ア	繁殖活動を行っている親鳥	羽	2	2	2	2
			イ	ふ化したヒナの数	羽	4	4	4	4
			ウ						
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
繁殖活動を記録・分析し、適切な時期に必要な措置を執る		ア	足環装着したヒナの数	羽	4	4	4	4	
		イ	巣立った幼鳥の数	羽	4	4	4	4	
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)		② コストの推移		単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
報償金: 53千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				1,000
報償品: 14千円		県支出金	千円				333	
食糧費: 10千円		地方債	千円					
手数料: 6千円		その他	千円				1,020	
事業委託費: 2,194千円		一般財源	千円			2,470		
使用料: 144千円		事業費計 (A)	千円			2,470	2,353	
賃借料: 49千円	人件費	正規職員従事人数	人			2		
		延べ業務時間	時間			50		
		人件費計 (B)	千円			212		
		トータルコスト(A)+(B)	千円			2,682		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成29年度から特別天然記念物であるコウノトリが繁殖活動を開始した。	・「コウノトリの行動観察」を業務委託し、人件費の軽減に努めた。 ・国庫補助や県補助を活用している。	・コウノトリの営巣地が増えるよう、給餌場(例:「ピオトープの新設」や「休耕田の活用」など)の確保を求められている。

事務事業名	コウノトリ保護事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	-----------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	意図的に、「繁殖地」も「ヒナの数」も増やすことができないため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	コウノトリの遺伝的多様性の維持が困難となる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		本事業に類似する事業は存在しない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要最小限の予算で実施している。
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要最小限の人数で行っている。
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		国民共有の財産の保護・保存のためのものである。
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
市の負担額の軽減や業務量の削減については、一定の成果がでている。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> コウノトリが病気やケガをした時の「応急処置」の体制を確立する。 営巣地が増加する可能性は極めて高いため、それに向けた準備を進める。 「“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりアクションプラン」を着実に実行する。 																			